

数 学 B 学 習 指 導 案					
ク ラ ス	2 年 9 組	場 所	209 教室	指 導 者	(省 略)
単 元	第 2 章 ベクトル		教 科 書	新 編 数 学 B (旺 文 社)	
指 導 計 画 時 間 配 当	§ 1 平面上のベクトル.....7 時間 § 2 ベクトルの応用 1 位置ベクトル.....1 時間 2 図形への応用.....4 時間 (本時はその 2 時間目) 3 ベクトル方程式.....3 時間 § 3 空間におけるベクトル.....10 時間				
本 時 の 目 標	任意のベクトルは、1 次独立な 2 つのベクトルで、ただ 1 通りに表されることを用いて、交点の位置ベクトルを求める方法を理解させる。				
本 時 の 展 開 指 導 過 程	指 導 内 容		分	留 意 点 ・ 評 価 等 ・ 資 料 等	
	導 入	課題の確認をし、本時の目標を確認する。	5	・ 課題にどのように取り組んでいるか確認し、本時の目標について確認させる。 (関 心 ・ 意 欲)	
	展 開	1 例題 6 を説明する。 ABC において、辺 AB を 3 : 2 に内分する点を D、辺 AC を 2 : 1 に内分する点を E、2 直線 BE, CD の交点を P とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$, $\overrightarrow{AC} = \vec{b}$ として、 \overrightarrow{AP} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。	15	・ 点 P をそれぞれ線分 CD、線分 BE の分点と考え、 \overrightarrow{AP} を 2 通りに表させる。任意のベクトルは、1 次独立な 2 つのベクトルで、ただ 1 通りに表せることを用いて、 \overrightarrow{AP} を求めさせる。 (数 学 的 な 考 え 方)	
		2 問 29 を解く。	8	・ 机間指導をし、生徒の理解度を確認する。 (知 識 ・ 理 解) ・ 板書させ、解答を確認させる。 (表 現 ・ 処 理)	
		3 問 29 において、直線 AP と辺 BC の交点を Q とするとき、BQ : QC, AP : PQ を求める。	7	・ 問 29 の結果を利用し、求めさせる。 (数 学 的 な 考 え 方)	
開	4 練習問題を解く。 ABC において、辺 AB を 3 : 1 に内分する点を D、辺 BC を 2 : 3 に内分する点を E、2 直線 BC, CD の交点を P とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$, $\overrightarrow{AC} = \vec{b}$ として、 \overrightarrow{AP} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。	10	・ 点 P が直線 AE 上にあることを留意させる。 (知 識 ・ 理 解 、 数 学 的 な 考 え 方)		
整 理	本時のまとめをし、次時の予告をする。		5	・ 本時のまとめをし、課題を提示する。 (知 識 ・ 理 解)	
備 考	生徒数 44 名 (人文系コース)				

